

SSH アメリカ海外研修(国際学会)を行いました!

令和6年12月9日(月)~15日(日)にSSHアメリカ海外研修(国際学会)を行い、科学部4名が参加しました。目的は、「国際学会AGU24での発表」です。AGUは国際的に最上位の地球物理学の専門学会です。毎年12月に開かれ、今年はワシントンDCにあるウォルター・E・ワシントン・コンベンションセンターで行われました。

発表テーマは「Late Magma Differentiation at Bingi Bingi Complex, Southeast NSW, Australia – Based on Oscillatory Zoned Structure of Amphiboles of Granitoids ー」。今年1月のオーストラリア海外研修で地質調査を行い、採取した岩石試料の詳細な観察から得られた発見についての発表です。深成岩の角閃石から新たな鉱物組織を発見したという内容で、この発見はなんと、教科書に記載のあるマグマ分化過程の内容を覆す成果です。構造の成因を明らかにしただけでなく、その構造がマグマ分化末期の環境を示す指標であることを明らかにし、AGU24で発表しました。

AGUとは?

アメリカ合衆国にある地球物理学の学会。地球物理学分野では世界最大級の学会で、約130の国から4万人以上が加盟している。毎年12月に学会が開かれ、27000人以上の研究者が集まる。



専門の研究者の方々に1対1で英語での対応です。「自分たちの研究をわかってほしい!」という熱い思いを伝えました!

AGU24は、「ジュニアセッション」や「高校生ポスター発表」とは異なり、専門研究者の発表会です。事前の論文審査を経て、許可されたものだけが発表できます。この世界最大級の学会に参加している高校生は、なんと姫路東高校の生徒4人だけでした。いよいよオーストラリア海外研修の地質調査から始まった研究に区切りがつかしました。今後はこの成果をもとにして次の海外研修へ向かいます。

オーストラリアでの調査の様子(令和6年1月) →



SSH 小・中学生・高校生探究活動合同発表会を行いました！

令和6年12月16日(月)に姫路市立広嶺中学校で、SSH 小・中学生・高校生探究活動合同発表会を行いました。姫路市立城北小学校6年生、姫路市立広峰小学校6年生、姫路市立広嶺中学校2年生が参加し、運営スタッフとして姫路東高校からは生徒57名が参加しました。内容は、合同発表会と姫路東高校の先生による実験講座(6講座)です。

発表会では、各学校の児童生徒が、自分たちが取り組んでいる探究活動について発表しました。小学生の発表に対して高校生が質問する等、合同発表会ならではのやり取りが見られました。

また、実験講座では、小・中学生が積極的に取り組み、質問している姿が多く見られました。



<参加した生徒の感想>

- ・小学生の発表のレベルの高さに驚いた。このような発表があるのは交流会の良さだと思う。
- ・小学生や中学生とともに実験を行うことを通して、話し合いの大切さを改めて感じた。
- ・頭の中ではわかっているつもりでも、小学生中学生にわかってもらえるようにかみ砕いて説明するのがむずかしかった。

第2回探究情報交換会を行いました！

令和6年12月6日(金)に第2回探究情報交換会を行いました。県内の高校10校から12名が来校し、姫路東高校の教員も含めて計29名が参加しました。今回のテーマは「探究活動とプレゼンテーション」でした。姫路飾西高校と姫路東高校の実践発表を行い、その後、班別に情報交換を行いました。学校でどのような探究活動を行っているのかを他校の先生方と共有したり、悩みや困りごとについて話し合うと、どの学校でも似たような問題を抱えていることがわかりました。

互いに協力しながら、先生も探究活動について学んでいます！

